

(ホームページなどで行う公知用文書)

当院で経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) を受けた患者様へ

「経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) 後に生じた門脈ガス血症の 7 例の検討」

嚥下が困難となり経口摂取ができなくなった場合に、栄養摂取経路として胃瘻を造設することがあります。胃瘻は内視鏡的に造設する場合や全身麻酔下で外科的手術により造設場合がありますが、内視鏡的に造設することが主流になっており、経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) と称されます。PEG は手技や安全性が確立しており、外科的胃瘻造設と比較し侵襲が少ないと考えられていますが、PEG に伴う合併症も種々報告されており、一般的には重篤な状態で出現することが多い門脈ガス血症 (肝臓へ通じる静脈である門脈に空気が入ってしまう状態) が PEG 後に生じることも報告されています。この門脈ガス血症が PEG 後に生じる機序は明らかになっておらず、また重篤にならず改善した報告や重篤になり亡くなられた報告など報告により予後は異なっています。

当院で 2010 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに PEG を施行された方の情報を集計し、PEG 後に門脈ガス血症が生じた方の情報を得て、生じなかった方と比較検討することにより、今後も増加すると考えられる PEG に同様の門脈ガス血症を生じることを防ぐ方法や生じた際によりよく対処できる方法を検証することといたしました。

PEG 後の経過についてカルテを参照して集計しますので、皆様のご負担はございません。また、検証した結果を学会で発表あるいは論文として発表する場合がありますが、皆様の個人情報 that 特定されないように、データの取り扱いには十分に配慮を行います。どうか研究の趣旨をご理解いただき、ご承認をくださいますようお願い申し上げます。

この研究内容については、柏市立柏病院倫理委員会にて審査を受け、承認を得ております。研究期間は、承認日から 2024 年 12 月 31 日です。なお、研究に協力したくない場合は、主治医もしくは当院スタッフにお伝えしていただければ研究対象から除外することが可能ですので、お申し出ください。

問い合わせ先： 柏市立柏病院

消化器内科 飯塚泰弘

〒277-0825 千葉県柏市布施 1-3

電話 04-7134-2000 (平日 9:00-17:00)